

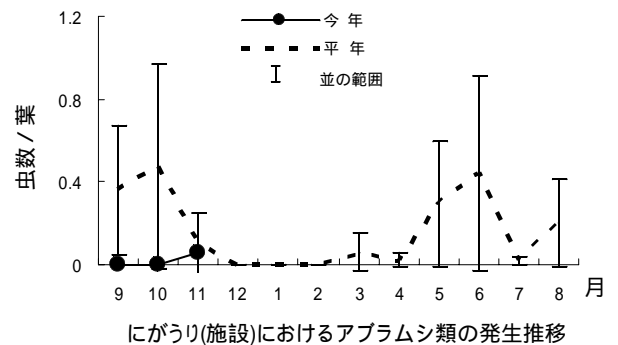
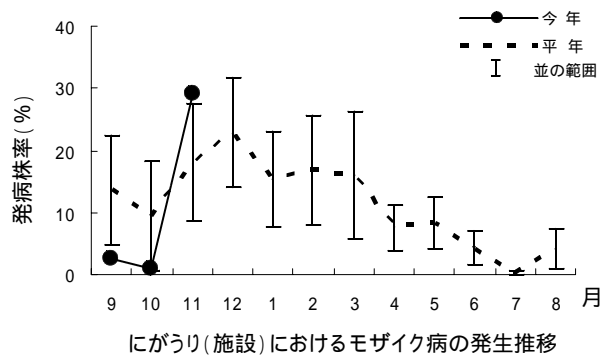
### 病害虫発生予察注意報について

みだしのことについて、注意報第3号を発表したので送付します。

#### 平成16年度病害虫発生予察注意報第3号

- 1 病害虫名 モザイク病
- 2 作物名 にがうり(施設)
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発令の根拠

- (1) 11月下旬の調査の結果、発病株率は4割のほ場で50%を超え、全体で29.1%(前年0%、平年18.1%)と平年よりやや高かった。また、発生圃場率は70%であった。
- (2) 媒介虫であるアブラムシ類の葉当たり虫数は0.06頭(前年0頭、平年0.09頭)と平年並みであった。



#### 5 防除上注意すべき事項

本病はアブラムシ類によって媒介され、汁液によっても伝染するので防除にあたっては以下の点に注意する。

##### (1) アブラムシ類の防除

施設は近紫外線除去フィルムで、畦はシルバーマルチで被覆し、入口、天窗、側窓にはシルバー寒冷紗等を張り飛来侵入を防ぐ。

防虫網(0.8mm以下)でほ場への飛来侵入を防止する。

発生源となる周辺雑草を除去する。

早期発見に努め、薬剤による防除を行う。

##### (2) 発病株の処理

発病株は伝染源となるので、発見し次第抜き取りビニール袋等に入れて完全に枯れてから処分する。抜き取り株をほ場内に放置しない。

抜き取りの際、汁液が他株に付着しないように注意する(汁液伝染の防止)。

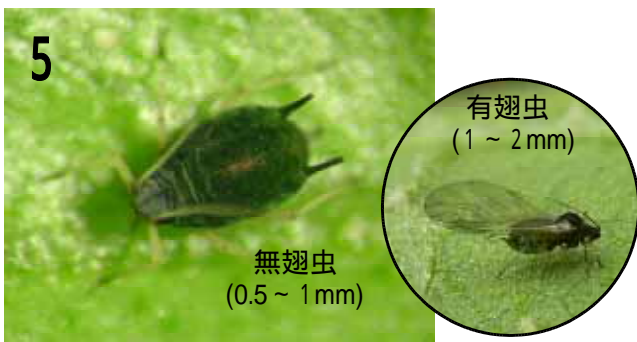
##### (3) 収穫管理作業における伝染防止

収穫管理作業で使用したハサミ等を消毒する。

発病株の収穫管理作業は最後に行う。

草勢が良いと病徴が軽くなったりするため、やむを得ず発病株を残す場合は肥培管理を適切にするとともに節成り品種では着果しすぎないように注意し、収穫管理作業は最後に行う。

6 参考(写真資料)



(写真の説明) 1 ~ 3: 葉の病徴 , 4: 奇形果実 , 5: 媒介虫のワタアブラムシ